

名雪雅夫が行く

独創の現場



空調のプロ「ソダ工業」

「空気」という目に見えない液体をコントロールするアロフエツショナルと自他ともに認める先端技術企業が大阪府東大阪市にある。「空気を科学する」というのがこの意欲的な空調機器会社「ソダ工業」の掲げるモットーだ。

患者や医師を雑菌による感染から守るため病院の手術室には清浄な環境が必要だ。とりわけ患者の体にメスを入れる手術台周辺に集中的にクリーンな空気を送り込み、高度な無菌状態にしてしまう。ソダ工業が開発したゾーン浄化装置は、部屋を密閉する大掛かりな間仕切りもない。空気の流れただけで瞬時に

に必要な部分を無菌化する。ただ空気を手術台の上から吹き出すだけでは周辺のちりやほこりを巻き込みばかりでかえって邪魔になる。どうすればいいか。「空気の流れをできるだけ真つすぐに絶え間なく流してやる。そうすると、その周囲の空気と混じりあうことなく、そこだけすぼりと清浄な空間が生まれる」と曾田勇作社長(左)。

しかし空気を真つすぐに吹き出すというのはそう簡単ではない。強く吹けば床のほこりを巻き上げてしまう。弱ければ途中で空気の流れが乱れる。解決のキは空気の吹き出し口の形だつた。

ハチの巣(ハニカム)と同じように一辺が三、ほどの細い六角形の筒をすき間なく組み合わせた。



環境浄化へ「空気」自在に

せ、そこに空気を通すと見事に流れの乱れない直流が生まれたのだ。この技術が特許となつた。大阪府立大の流体研究室の協力を得て、医師や看護師の手の動きによる気流の変化まで計

算に入れた最適な流速も突き止めることができた。

「算に入れた最適な流速も突き止める」と思った。

測定の関連装置。高温の排ガスを

技術屋の曾田社長は、かつて

まず手がけたのが、それまで仕事でつながりのあった工場製作所(京都市)と共同開発し、二年後に完成した自動車排ガス

測定の際、温度を下げ、一定の条件のもとで測定する空気環境をつくる電子冷却除湿器が最初の特許となつた。

開発した製品のシステム図を前に説明する曾田勇作社長(東大阪市花園東町のソダ工業本社)

ソダ工業

- ◇本社—大阪府東大阪市花園東町2-8-15
- ☎0729・64・1673
- ◇資本金—4000万円
- ◇売上高—7億6000万円
- ◇従業員—38人

大手空調機メーカーで働いていたが昭和四十九(一九七四)年、三十二歳でソダ工業を起した。「光化学スモッグなどの大気汚染が深刻だったことで、これからは環境浄化が重要にな

こうした曾田社長の柔軟で挑戦的な姿勢を支える同社の技術者集団には、大手電機メーカーの技師長から転職した人を含め博士が三人もいる。その技術力を賣って持ち込まれる開発提案も数多い。長年培ってきた大学の人脉も幅広く、さまざま産学協同も実践、着実に成果を上げていく。

(産経新聞大阪本社編集局長)